

KAGAWA アンバサダーからのお便り ～多田良二さん～

こんにちは、台湾在住 29 年目の KAGAWA アンバサダーの多田良二です。私が台湾に赴任した 1992 年ごろは日本好きの台湾の方でも「香川県」に行ったことがある人は稀でしたが、2013 年高松-台北の直航便が就航してから、沢山の方が香川県、四国に行かれるようになり、香川県と台湾の交流が深まっていることを実感しています。

さて 7 月 23 日に東京オリンピックが開幕しましたが、台湾チームのユニフォームのデザインを、私の友人の周裕穎（ジャスティン・チュウ）さんが担当しました。ユニフォームのデザインには 3 つのポイントがあります。1 つ目は台湾の代表的な文化である鉄の格子窓と国花である梅の花のモチーフを、ジャガードとデジタルプリントで表現したこと。そして 2 つ目は台湾が得意とする環境に配慮した再生ポリエステルを使用した機能性素材。そして 3 つ目は台湾で 100 年以上の歴史のある漆芸の金銀漆ボタンを使用したこと。ボタン側面の 6 色レインボーは、アジアで最初にジェンダレス婚を認めた台湾の多様性、包容力を表しています。

そしてこの台湾の漆芸の発展に大きく貢献されたのが香川県出身の山中公（やまなかただす）氏です。氏は 1886 年（明治 19 年）に生まれ、香川県立高松工芸高等学校の前身である香川県工芸学校の教諭を経た後、1916 年に台湾に移住し、漆芸を広めたことから「台湾漆芸の生みの親」と呼ばれています。多くの後継者を育てるとともに、台湾の風土を生かした独自の「蓬莱塗（ほうらいぬり）」を生み出し、台湾の漆芸の発展に大きく貢献したことで広く知られています。台湾のオリンピックユニフォームと香川県が漆芸で繋がっていることも知っていただき、少しでも台湾に親近感を感じていただければ嬉しい限りです。



デザイナーの周裕穎（ジャスティン・チュウ）氏（左）



漆芸のボタン



多田良二（ただりょうじ）さん

三木町出身。台湾台北市在住。台湾伊都錦(イトキン) 董事長。「日系ファッション交流会」常任幹事、台湾經濟部の外郭団体「紡拓会」名誉顧問、台湾文化部「台北ファッションウィーク」諮問委員として日本と台湾のファッション産業の交流に尽力。台湾香川県人会副会長。

◇ **KAGAWA アンバサダーについて**

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇ **KAGAWA アンバサダーからのお便りについて**

県民の方々にKAGAWAアンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されているKAGAWAアンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。